



# 1. 学科課程

## 学科専門教育科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考	
			1年以上履修可	2年以上履修可	3年以上履修可	4年以上履修可			
			前通後	前通後	前通後	前通後			
心理学 科目 群	2021	心理学概論	2				田後 毅彦 辺 靖宏 藤川 久仁佳 石原 悟宏 柿川 宏彦 石川 靖毅 後藤 毅彦 田辺 毅彦 田辺 毅彦 後藤 毅彦 石川 久仁佳 柿原 久仁佳 大瀬 幸則 田辺 毅彦 後藤 毅彦 石川 久仁佳 大瀬 幸則 後藤 毅彦 藤原 久仁佳 柿原 久仁佳	コーディネーター	
	2002 2003 2004 2022	心理統計法(コ) 音楽心理学 感情心理学 心理学実験(コA)	2	2 2 4					
	2023	心理学実験(コB)		4					
	2024	心理学研究法(コ)		2					
	2025	対人行動論(コ)		2	2			2020年度開講せず	
	2015	産業心理学(コ)	2						
	2016	学習心理学(コ)		2					
	2017	スポーツ心理学	2						
	8911	教育心理学(A)	2						
	8912	教育心理学(B)		2					
	2026	生涯発達心理学	2						
	2018	心理言語学	2						
	2019	学校心理学(コ)	2						
	2027	コミュニティ心理学	2						
	地域・国際 科目 群	2031	地域国際概論	2				片岡 徹 阪井 宏 寺林 良 大島 美 片岡 徹 寺林 良 寺林 良 大島 美 大阪 宏 大阪 宏 片岡 徹 片岡 徹 大島 美 妹尾 利 小幡 直 小幡 直 小幡 直 小幡 直	コーディネーター
		2032	社会調査法(A)		4				
		2033	社会調査法(B)		4				
		2034	インタビュー・ルポルタージュ技法(A)		2				
		2035	インタビュー・ルポルタージュ技法(B)		2				
		2038	国際教育論		2				
2039		現代教育論	2						
2037		国際社会論	2						
2041		映像技術演習 I (A)	2						
2042		映像技術演習 I (B)	2						
国際 科目 群	2043	映像技術演習 II		2					
	1986	時事社会研究 英語メディア研究 翻訳法BI			2				
	1988	翻訳法BII		2					
	2082	マスコミュニケーション論		2					
	1606	演劇概論	2						
	2045 2046	メディアコミュニケーション 地域コミュニティ論	2	2					



	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
学		海外英語短期研修 海外プロジェクト研修Ⅰ 海外プロジェクト研修Ⅱ 野外活動演習 心理学特殊実習 地域学習実習	4	2			江口均 阪井宏	
	2189	English as a global language	4				大島寿美子 片岡徹 長谷川典子 長谷川典子	81ページの注2を参照のこと
科	1616	異文化コミュニケーション概論Ⅰ	2					
	1617	異文化コミュニケーション概論Ⅱ	2					
		Online English			2			
		English for Tourist Industry			2			
		欧米文化論A			2			
		欧米文化論B			2			
		欧米文化論C			2			
		欧米文化論D			2			
		英米史A			2			
		英米史B			2			
共通		プロジェクト実習			②			
		専門演習Ⅰ				②		
		専門演習Ⅱ				②		
		専門演習Ⅲ				②		
		卒業研究Ⅰ				③		
		卒業研究Ⅱ				③		
	2192	日本史Ⅰ〔前近代〕(文社部)		2			篠崎敦史	
	2193	日本史Ⅱ〔近現代〕(文社部)			2		篠崎敦史	
	6402	世界史Ⅰ(文社部)		4			福田淳一	
	3138	世界史Ⅱ		4			中村一浩	
3411	地理学(A)		2			塩崎大輔		
3412	自然地理学(A)			2		菊地達夫		
3422	(B)			2		高橋伸幸		
3141	地誌概説			4		塩崎大輔		
3147	現代政治学		2			萱野智篤		
3415	現代哲学			2		西永亮		
3143	宗教学(A)		2			堀雅彦		
3144	(B)			2		堀雅彦		
群	3240	社会思想史(A)			2			
		国際政治学		2			萱野智篤	
	5641	憲法Ⅰ〔人権〕	4				岩本一郎	
	5642	憲法Ⅱ〔統治機構〕	4				岩本一郎	
	2401	経済学入門(文社部)	2				小松知春	
	3238	国際経済学Ⅰ		2			竹野内真樹	
	3239	国際経済学Ⅱ		2			竹野内真樹	

集中講義 ※教職課程履修者指定クラス

注1) この科目は、履修登録時までに TOEIC500点以上の得点、TOEFL450点以上の得点、実用英語技能検定準2級以上のいずれかの取得が必要となる。「履修登録 Web」での履修登録はできないので、履修登録の際は TOEIC500点以上のスコア、TOEFL450点以上のスコア、実用英語技能検定準2級以上の合格証書いずれかを履修登録期間中に科目担当者に持参し、履修申込みをすること。また、履修登録できる者は30名を上限とする。履修希望者が31名を超えた場合は抽選となる。

注2) 網かけの科目は、履修登録時までに TOEFL450点以上もしくは TOEIC600点以上の得点が必要となる。「履修登録 Web」での履修登録はできないので、履修登録の際は TOEFL450点以上もしくは TOEIC600点以上のスコアを期限までに学科長に提出すること(提出期限は学科長に確認すること)。また、履修登録できる者は各科目5名を上限とする。履修希望者が6名を超えた場合は抽選となる。なお、TOEFLについては学内 TOEFL のスコアも可とする。

文学部



## 2. 卒業に必要な単位

### 1. 大学共通科目

37～47ページを参照のこと。

### 2. 外国語科目の単位認定

181・182ページを参照のこと。

### 3. 卒業研究

174～177ページを参照のこと。

#### (A) 大学共通科目<sup>1</sup>

大学共通科目は、人間科学、人文科学、自然・数理科学、社会科学、地域と世界、キリスト教、キャリア支援、外国語からなる。

- (1) 人間科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (2) 人文科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (3) 自然・数理科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (4) 社会科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (5) 地域と世界  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (6) キリスト教  
この分野から4単位以上を修得すること。ただし聖書の思想と文化Ⅰ及びⅡか、又はキリスト教の歴史Ⅰ及びⅡのいずれかとセットで修得すること。
- (7) キャリア支援  
キャリア教育科目から、学びとキャリア形成Ⅰ1科目2単位を修得すること。日本語科目から、日本語表現Ⅰ1科目2単位及び日本語表現Ⅱ1科目2単位を修得すること。情報科目から、情報入門1科目2単位、及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱのいずれか1科目2単位を合わせた、計2科目4単位を修得すること。なお、これらの科目は1年次に修得することを原則とする。また、情報活用ⅠとⅡの重複履修はできない。  
ハードウェア基礎及びソフトウェア基礎の履修は、情報入門及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱの2科目4単位の修得を条件とする。  
なお、総合講義に関しては、修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
- (8) 外国語
  - 1 英語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること。
  - 2 検定により認定される。詳細は「外国語科目の単位認定<sup>2</sup>」の頁を参照すること。
  - 3 自分が選択した言語8単位修得後、3年次以降に別の言語を履修することもできる。
- (9) (1)～(8)までの上記で修得すべき単位32単位以外に6単位以上を修得すること。

#### (B) 学科専門教育科目

以下の要領で履修し合計62単位以上を修得しなければならない。

- (1) 『人間科学コース科目群』の心理科学概論、心理統計法、心理科学実験、心理科学研究法、の4科目10単位か、『地域・国際コース科目群』の地域国際概論、映像技術演習Ⅰ、社会調査法、インタビュー・ルポルタージュ技法、の4科目10単位のいずれかを習得すること。
- (2) 『学科共通科目群』から必修32単位を修得すること。
- (3) (1)・(2)で修得していない『人間科学コース科目群』『地域・国際コース科目群』『学科共通科目群』の科目の中から、20単位を修得すること。
- (4) 検定試験は、自学自習をして受験し合格した場合に単位を認定する。なお、卒業には8単位の認定を受けることが必要である。詳細は、「検定認定について」を参照すること。
- (5) 履修登録の条件が指定されている科目が「(C)積上指定科目」として示されているので、必ず確認すること。
- (6) 「3. スクリーニング」には、3年次以上の専門教育科目及び教職に関する科目の履修に必要な基礎条件が記載されているので、必ず確認すること。
- (7) 卒業研究<sup>3</sup>の提出は、最終年次の前年次までに82単位以上（検定認定単位を除く）を修得

していることを要件とする。ただし82単位未満でも卒業研究Ⅰ，卒業研究Ⅱの履修登録をすることはできる（提出は不可）。詳しくは、「卒業研究」の頁を参照すること。

- (8) 海外プロジェクト研修Ⅰ及び海外英語短期研修の履修登録は、参加申込みをもって代える。海外研修の参加とそれに伴う授業への出席により単位修得ができる。ただし事前調査の結果、履修希望者が少ない場合は開講しない。
- (9) 実習科目を履修する場合、実習費を当該科目の履修年度において納入しなければならない。科目名及び金額については、この履修ガイドの「学則（抜粋）」の最後に示してあるので確認すること。

## (C) 積上指定科目

以下の科目においては、履修登録の条件が指定されているので注意すること。

プロジェクト実習，専門演習Ⅰ：科学的研究法基礎実習，および〔心理学実験と心理学研究法〕あるいは〔社会調査法とインタビュー・ルポルタージュ技法〕の単位取得を条件とする。

専門演習Ⅱ・Ⅲ：原則としてプロジェクト実習および専門演習Ⅰの単位取得を条件とする。

フィールド実習Ⅱ：フィールド実習Ⅰの単位取得を条件とする。

## (D) その他

(1) 『大学共通科目』及び『人間科学コース科目群』『地域・国際コース科目群』『学科共通科目群』で修得すべき単位100単位以外に必要な24単位（検定認定の8単位を除く）は、以上の修得すべき単位100単位として修得した授業科目以外の大学共通科目，学科専門教育科目，文学部他学科専門教育科目，他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目<sup>1</sup>から算入できる。

(2) 卒業単位計算上，修得した科目の単位数を分割して算入することができる。

(3) 他学科専門教育科目は52，59ページに掲載されている科目のみ，履修登録することができる。

(4) 副専攻科目<sup>2</sup>については，副専攻課程の履修を許可された場合には，修得した科目は全て，卒業単位の総単位に算入できる科目となる。

(5) 教育心理学は，教職に関する科目としても開設されているが，卒業単位計算上，心理・応用コミュニケーション学科専門教育科目として参入し，履修登録時は教職に関する科目として取り扱い，履修登録単位数の上限には含まない。

(6) この(A)(B)(D)のことについて，「(E)卒業単位表」に分かりやすく表で示してあるので参照のこと。

1. 文学部他学科専門教育科目，他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目

48～64ページを参照のこと。

2. 副専攻科目

199～206ページを参照のこと。



(E) 卒業単位集計表 (卒業に必要な最低単位数)

		単 位 数			
		必 修	選 択		
大 学 共 通 科 目	人 間 科 学		2単位	} 6単位	} 24単位
	人 文 科 学		2単位		
	自 然 ・ 数 理 科 学		2単位		
	社 会 科 学		2単位		
	地 域 と 世 界		2単位		
	キ リ ス ト 教 学		4単位		
	キャリア支援	総 合 講 義			
		キ ャ リ ア 教 育	2単位		
		日 本 語 科 目	4単位		
		情 報 科 目	2単位	2単位	
外 国 語		8単位			
計		8単位	24単位	6単位	大学共通計
					38単位
学 科 専 門 教 育 科 目	コ ー ス 専 門 科 目	人間科学コース科目群	} 10単位	} 20単位	
		地域・国際コース科目群			
	学 科 共 通 科 目 群 ※	32単位			
計		32単位	10単位	20単位	62単位
文学部他学科専門教育科目					検定認定
他学部他学科専門教育科目					
国際交流関係科目					
副 専 攻 科 目					
検 定 認 定		8単位			
計		48単位	34単位	26単位	24単位
合 計		132単位			132単位

※「英語関連活動」から卒業単位に算入できるのは8単位までとする。

## (F) 検定認定について

各種検定試験に合格した者は、以下の要領に従い認定の手続を行うこと。

(1) 申請手続

- ・3年次または4年次に一括申請すること。
- ・申請受付時期（年5回予定）については別途掲示で連絡する。

なお、各年度の最終申請締切りは1月末日とし、2月の教授会に諮り単位の認定を行う。

- ・申請は、下記の書類を教育支援課に提出すること。

- ① 「心理・応用コミュニケーション学科検定認定申請書」（教育支援課資料配布トレイにある）
- ② 検定試験の「合格証書」か「合格証明書」、または「得点通知書」（原本）

(2) 認定の対象となる検定試験

群	検 定	レベル	単位数	群	検 定	レベル	単位数	
英 語	実用英語技能検定試験 主催：(財)日本英語検定協会	準2級	2	中 国 語	中国語検定試験 主催：日本中国語検定協会	準4級	2	
		2級	4			4級	4	
		準1級	8			3級	8	
		1級	12			2級	12	
	TOEFL Test of English as a Foreign Language 国内主催：国際教育交換協議会 本部：ETS (Educational Testing Service)	19-40	2	国 語	実用中国語技能検定試験 主催：アジア国際交流奨学財団	5級	2	
		41-51	4			準4級	4	
		52-60	6			4級	8	
		61-78	8			3級	12	
		79-	12			HSK（筆記） 主催：HSK 日本実施委員会	5級	4
		TOEIC Test of English for International Communication 国内主催：(財)国際ビジネスコミュニケーション協会 本部：ETS (Educational Testing Service)	340-399				2	6級
独 語	ドイツ語技能検定試験 主催：(財)ドイツ語学文学振興会	5級	2	韓 国 語	ハングル能力検定試験 主催：ハングル能力検定協会	5級	2	
		4級	4			4級	4	
		3級	6			3級	8	
		2級	8			準2級	12	
		準1級	10			韓国語能力試験 主催：(財)韓国教育財団	1級	4
	1級	12	2級	8				
	オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験 主催：オーストリア連邦省	初級	6	語	3級～6級	12		
		ドイツ語基礎 統一試験	8			※〔5級合格の認定〕 合計6割以上、「聞き取り」「読解」 「作文」の各項目も6割以上の点数が 取れていること。 ※〔6級合格の認定〕 合計6割以上、「聞き取り」「読解」 「作文」の各項目も5割以上の点数が 取れていること。		
	仏 語	実用フランス語技能検定試験 主催：(財)フランス語教育振興協会	5級	2	日 本 語	日本語検定 主催：日本語検定委員会	4級(準3級)	2
			4級	4			3級(準2級)	4
3級			8	2級(準1級)			6	
準2級			10	1級			8	
2級			12	国語力検定 主催：Z会 国語力研究所			2級	2
TOEFLの試験は3種類あり、以下の通り対応させる。 Paper-Based Computer-Based Internet-Based	350 - 436	63 - 122	19 - 40	本 語	※(4)参照	1級	4	
	437 - 469	123 - 149	41 - 51			特級	6	
	470 - 499	150 - 172	52 - 60			語彙・読解力検定 主催：朝日新聞社・ベネッセ	準2級	2
	500 - 549	173 - 212	61 - 78			2級	4	
	550 - (677)	213 - (300)	79 -			準1級	6	
漢 字	日本語検定 主催：日本語検定委員会	4級(準3級)	2	漢 字	日本語漢字能力検定試験 主催：日本漢字能力検定協会	準2級	2	
		3級(準2級)	4			2級	4	
		2級(準1級)	6			準1級	6	
		1級	8			1級	8	

(3) 申請上の注意事項

- ・入学前に合格した検定又は得点は、原則として入学前5年間まで有効として申請することができる。
  - ・同一群内の検定は共通科目（外国語）との重複認定を行わない。
  - ・同一群内の単位認定の申請は1検定に限り受け付ける。
  - ・認定単位数は異なった群についての合算ができる。
  - ・卒業に必要な8単位を超えた単位は卒業要件に算入できない。
  - ・学内 TOEFL 及び学内 TOEIC は認定の対象としない。
  - ・検定認定で申請した単位について、3年次のうちに申請した場合、卒業研究提出要件の単位数(最終年次の前年次までに82単位以上を修得すること)には含まないので留意すること。
- (4) 「国語力検定」は、2017年3月をもって終了したが、すでに受験し合格した分については申請することができる。
- (5) 「語彙・読解力検定」は、2018年度第2回をもって終了したが、すでに受験した合格分については申請することができる。

## 3. スクリーニング

(3年次以上の専門教育科目及び教職に関する科目の履修に必要な基礎条件)

2年次終了までに、下記の条件を満たしていないときは、3年次以上に配当された専門教育科目及び教職に関する科目の履修はできない。

次の(1)、(2)を含み50単位以上を修得していること。

- (1) 英語 I・II, フランス語 I・II, ドイツ語 I・II, 中国語 I・II, 韓国語 I・II のいずれか 2科目の4単位
- (2) 基礎演習の2単位

## 4. 取得可能資格

認定心理士（日本心理学会認定）

認定心理士の資格認定については、オリエンテーション時に説明する。

社会調査士（社会調査協会認定）

220ページを参照のこと。